

## 「人に優しいデザインを色使いと共に考える」

講師 武者 廣平

「人に優しいデザインとは？」と考えてみますと、バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン(UD)が行政側でも良く使われるキーワードですが、果たしてそれは同一同様なのでしょうか？  
また世の中の視覚情報はより多くの人々に伝わるように認識しやすくデザインされているのでしょうか？  
さらに安直に分かり易くとカラー表示に頼りすぎてはいませんか？  
そのような疑問への答えとUD開発具体例のご紹介により、新たなUD視点の「気付き」を体感して戴きたいと考えています。

### ■ 色弱者の現状 ■

遺伝子の違いにより色の見え方が一般の人と異なる色弱者は日本では男性の20人に1人(5%)、日本全体では320万人以上います。この人数は男子小学生総数よりも多く、血液AB型男性人数そして男性身障者手帳保有者数とほぼ同じ人数です。世界規模では2億人を超えます。女性は500人に1人(0.2%)と極めて少数なので色弱は男性特有の遺伝形態と言えます。色覚は遺伝子で決まるので、「治療」することは不可能です。従って色弱者に見分けにくい配色が使われている場合、それに対応する手だてはありません。

# Profile

MUSHA DESIGN PROJECT

セレンディビティスト  
UDデザイナー

武者 廣平

(ひろしひろ)



## ◆ 略歴

- 1952年 宮城県仙台市生まれ、高校より東京に転居 (桐朋学園 卒)
- 1977年 多摩美術大学 立体デザイン科 プロダクトデザイン専修 卒業
- 1984年 家庭日用品メーカーを経てフリーランスデザイナー活動開始  
株式会社 平野デザイン設計 嘱託
- 1986年 株式会社 武者デザインプロジェクト 設立
- 2002年 色覚バリアフリー活動に参加
- 2004年 NPO法人CUDO設立・事務所を自社内に開設(現在は外神田に移転)

現在に至る。

## ◆ 所属団体及び役職等 (2012年末 現在)

- 株式会社 武者デザインプロジェクト 代表取締役
- NPO法人 カラーユニバーサルデザイン機構 / CUDO 理事長  
(2010 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労賞 / 内閣総理大臣 表彰)
- JDB (日本デザイン事業協同組合) 副理事長
- JIDA (日本インダストリアルデザイナー協会) 環境委員会 委員
- UCDA (ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会) 理事
- 公正取引委員会 下請取引改善提案委員 (東日本デザイン業) 代表
- 東京都 / 「東京都の伝統的工芸品チャレンジ大賞」 選考審査委員
- 東京都 / 中小企業振興公社 デザインアドバイザー
- 茨城県 / ひたちなかテクノデザインセンター 顧問
- 川崎市 / かわさき産業デザインコンペティション 審査委員
- 学校法人 桐朋学園 / 同窓会 / 第25期 評議委員

(順不同)

## ◆ 主な受賞歴

- Gマーク・グッドデザイン賞 / 部門別賞 (中小企業商品賞) 受賞 2回
- Gマーク・グッドデザイン賞 / 受賞 多数
- 北海道「北の産業デザインコンペ」 工業デザイン部門 金賞 受賞
- JAS(日本エアシステム)国際デザインコンペ「虹」 準グランプリ 受賞
- かわさきデザインデザインコンペティション 準グランプリ 受賞
- PRODUCT DESIGN for NEW MILLENNIUM  
\*A Universal Design Competition (米国)入賞
- AOYAMA DESIGN AWARD 東京都知事賞 受賞
- UCDAアワード2012「生活者を守るデザイン」 OTCパッケージ 部門  
グランプリ 受賞

株式会社 武者デザインプロジェクト

〒101-0054  
千代田区神田錦町3-2 PLATFORM ANNEX竹橋05-701

TEL : 03-5259-8555  
FAX : 03-3233-1519

007musha@musha-design.com  
<http://www.musha-design.com>